

## 福祉病院教育常任委員会

### 精神障害者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書の提出を求める請願を採択

福祉病院教育常任委員会は、3月17日(金)に委員会を開催し、1件の請願について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・請願第1号

#### 【主な質疑】

- Q 身体・知的障害者の方には、どのような交通運賃割引制度があるのか。
- A JRでは、障害がより重度の第一種の方は距離に関係なく半額（本人と介護者の2名割引）に、比較的軽度の第二種の方は100キロメートルなり150キロメートルを超えると割引（本人のみの割引）がある。バスでは半額、タクシーは1割引きになり、有料道路はあらかじめ登録の手続きをするなど幾つか条件があるが半額になっている。
- Q 現在ある精神障害者の方の交通運賃割引制度は。
- A 事業者が判断し割引をすることになってお

り、JRや有料道路の割引制度はないが、湖国バス、彦根観光バス、愛のりタクシーは半額となっており、また市内のタクシーは1割引となっている。

#### 【主な討論】

賛成 請願書の中で国連の障害者権利条約にも触れられているが、精神障害者の方が地域で生活し少しでも早く回復されるように、精神障害者の方への交通運賃割引制度は必要であり、本請願の採択に賛成する。

#### 【結果】

- ・請願第1号は採択



予算常任委員会



市民産業建設常任委員会



企画総務消防常任委員会



福祉病院教育常任委員会

## 議会改革特別委員会

### 「質疑・質問時の動画資料掲示」を協議、「彦根市議会基本条例」の施行状況の本検討を実施

1月30日(月)に開催した委員会では、「質疑・質問時の動画資料掲示」についての協議と、「彦根市議会基本条例」の施行状況の本検討を行いました。

質疑・質問時の動画資料掲示については、わかりやすく開かれた議会を目指す有効な手段であることは認められますが、他議会を調査した結果、動画掲示を可としている議会はなく、いくつかの課題もありました。

個人情報等に対する映像処理の徹底が求められることに対しその処理を誰が行うのか、議会質問という時間的な制約がある中で映像処理を確実にできるのか、動画に対する議員の責任も明確にする必要があるなど映像処理に関する課題。現在の会議録は紙による永年保存だが、動画をどうこれに対応させるかという保存に関する課題。現状、議場の映像機器では画像を流しながら質問することが出来ず、対応機器への変更や動画保存に新たな費用が発生するという費用に関する課題などです。

これらを解決しないまま拙速に結論を出さないよう議長に答申しました。

また、施行4年目である本年、規定に従い「彦根市議会基本条例」の施行状況の本検討を行い、各条文については「概ねできている」と評価されましたが、第12条の「議員間討議」についてはあり方も含め継続した検討が必要との評価がされました。

なお、基本条例自体の見直しについては「必要なし」という意見で一致しました。

彦根市議会基本条例検討結果については彦根市議会ホームページで公開しています。

市政について  
質す!

## 2月定例会個人質問

18人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



### ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)



### 各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



小川 隆史議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** スポーツ・文化交流センターの  
全ての工事が完成するのはいつか

**A** 令和6年3月末までに完成する



その他の質問

- ・旧ひこね燦ぱれすについて
- ・地区公民館の在り方検討について

**Q** プロシードアリーナHIKONE（彦根市スポーツ・文化交流センター）の駐車場、外構工事等全ての工事が完成するのはいつか。

**A** 令和6年3月末までに完成する予定で鋭意進めている。

**Q** 指定緊急避難場所および指定避難所であり、地域の防災訓練等に積極的に協力できるか。

**A** 地域からの防災訓練、防災講習の開催の相談には、助言、協力、講師派遣など、状況に応じて積極的な支援を行う。

**Q** 魅力的な施設運営を行うため、どのようなPRを考えているか。

**A** 指定管理者は、自主事業のスポーツ・文化講座の種類を増やすとともに、大規模大会の誘致、高校・大学の合宿等の利用促進を図る。市は、SNS等を活用し、積極的に施設のPRを行う。



▲供用開始後、外構、駐車場工事が進む、プロシードアリーナHIKONE



谷口 典隆議員  
企画総務消防常任委員会

**Q** 秋のご城下にぎわい市は経済を循環させる観点から継続すべきでは

**A** 一定の成果があったため今後は物産販売スペースを検討していく



その他の質問

- ・市立病院における医師・看護師・薬剤師の確保策について
- ・交通死亡事故多発を受けた取組について

**Q** 秋のご城下にぎわい市事業を廃止する理由と成果は。

**A** 新型コロナウイルス感染拡大に対する観光物産事業者支援の観点から令和3年度、4年度と実施した。国による各種観光支援策の実施や、インバウンドの制限緩和などの影響により、観光客が戻りつつある状況の中、一定の役割を果たしたと判断した。

成果については10月21日からの45日間で、総売上は約2,700万円。総入客数は、約12,000人であった。

**Q** 地域経済を循環させる観点から、継続するべきと考えるが見解は。

**A** 観光客のおもてなしという側面から、彦根ならではの物産品の観光客への提供は観光施策において重要なものと考えており、今後は恒常的な物産販売スペース設置について検討していく。



▲前年比133%の売上を記録した令和4年の秋のご城下にぎわい市

